

# 金融機関のリスク管理と気候変動リスク

## 【本日のトピックス】

- I. 金融リスクと気候変動リスク
- II. 金融機関に求められる気候変動リスク管理
- III. 課題

2021年3月2日

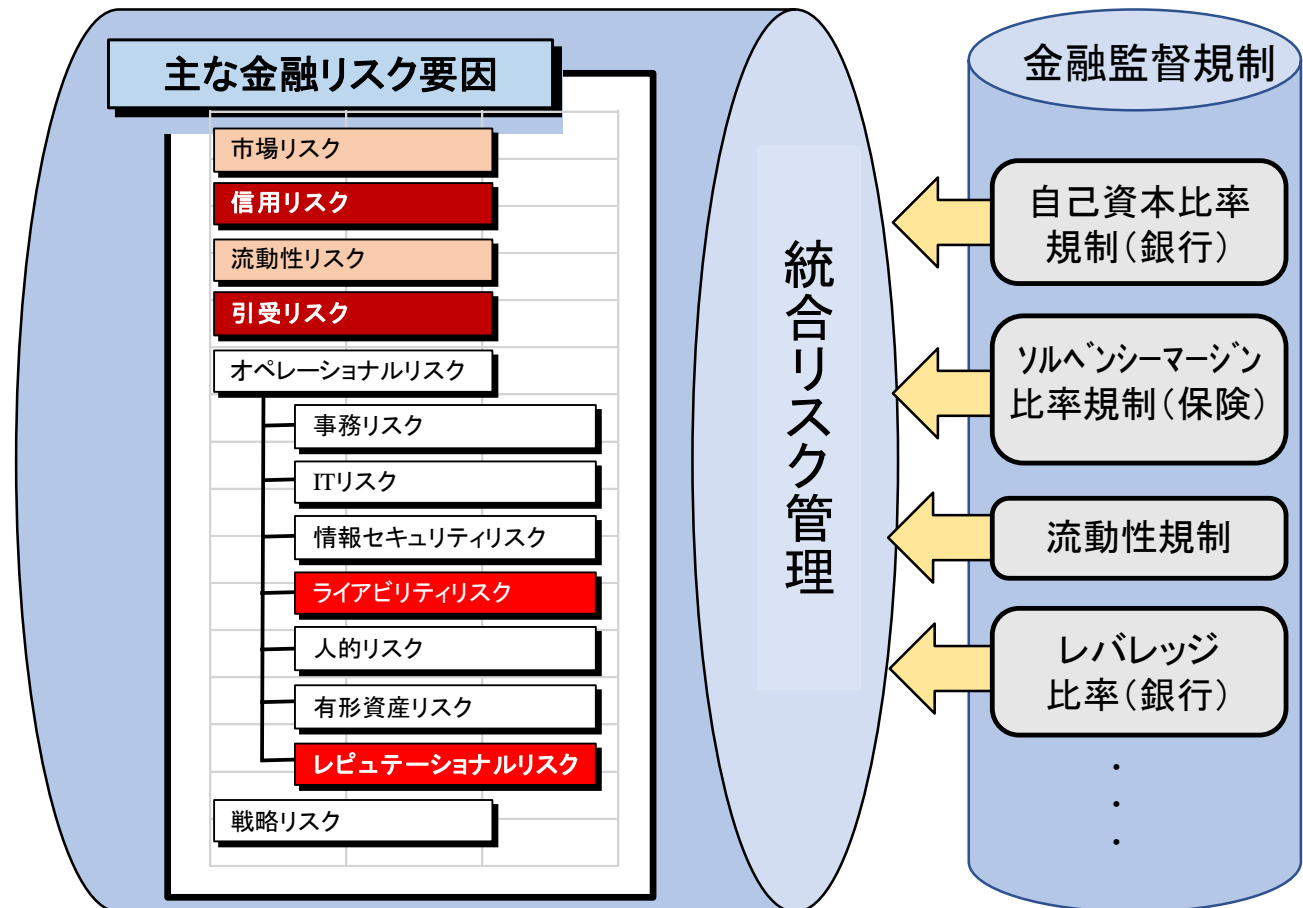
藤井健司

\* 1本資料は、筆者が個人の責任において作成したものであり、その意見・内容及び有り得べき誤り等は筆者個人の責任に帰属し、グローバルリスクアンドガバナンス合同会社を除き、筆者が過去ないし現在所属する組織のものではありません。

\* 2本資料の内容は、2021年2月28日時点の情報に基づいています。

## Ia. 金融機関のリスク管理体制

- ◆ 金融機関のリスク管理は、リスクカテゴリー毎の管理と、それを統合した管理
- ◆ その全体に対して、自己資本比率規制などの金融監督規制が存在



## Ib. 気候変動リスク

- ◆ 気候変動リスクは、物理的リスクと移行リスクに大別される
- ◆ 両者の間には、相互に影響しあう「天秤の関係」が存在

### 物理的リスク

- \* 気候変動自体による資産に対する直接的な損傷やサプライチェーンの寸断による財務損失
- \* 急性リスク(台風・洪水等)と慢性リスク(海面上昇等)に分類

### 移行リスク

- \* 低炭素経済移行に伴って発生する政策・法務・技術革新・市場嗜好の変化等に起因した損失のリスク(「座礁資産」等)

## Ic. 気候変動リスクと金融リスク – 金融リスクとの対比

- ◆ 気候変動リスクは、金融リスクとは異なる一方、金融リスクとして発現する
- ◆ 気候変動リスクは、金融リスクの「ドライバー」として既存のリスク管理枠組みに統合する形で管理する

- ◆ 気候変動リスクは下記の点で金融リスクと異なる
  - **期間**が長い(～数十年)
  - **データ**や**モデル**が未確立
  - リスク発現のタイミングや影響範囲に**不確実性が高い**
  - **法規制の動向**に**左右**される面が大きい
  - リスクに**複雑な相互依存関係・波及経路**がある
  - 将来のリスクの発現が現在の取り組みにかかっている

- ◆ 気候変動リスクは金融リスクで発現
  - **信用リスク**(例:住宅ローン、座礁資産等)
  - **市場リスク**(例:市場変動等)
  - **オペレーショナルリスク**(例:資産損傷・訴訟リスク等)
  - **引受リスク**(例:保険金支払等)

気候変動リスクは、金融リスクそのものではなく、**金融リスクの「ドライバー」**

既存の金融リスク管理の枠組みに統合する形で管理

## IIa. 金融機関に求められる気候変動リスク管理

◆ 気候変動リスク管理は、「ガバナンス」、「責任と規範」、「戦略」、「リスク管理」、「開示」から構成される

◆ 気候変動リスク管理は、以下から構成

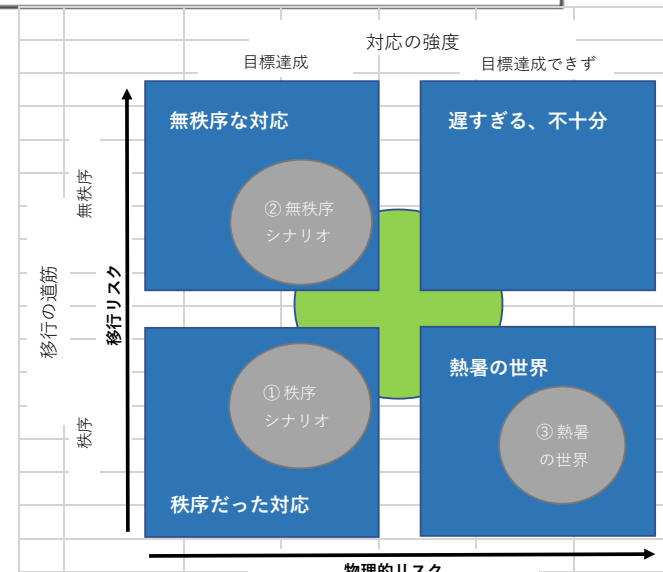
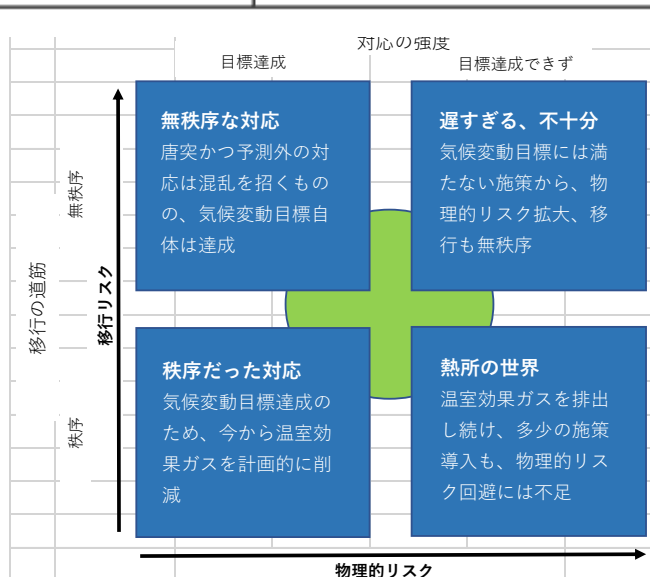
- ① **ガバナンス**
- ② **責任と規範**
- ③ **戦略**
- ④ **リスク管理**
- ⑤ **開示・ディスクロージャーリスク**

項目	
ガバナンス	気候変動リスクと機会に関する <b>ガバナンス体制確立</b>
責任と規範	国連の責任原則やESG方針に代表される <b>気候関連リスクに対する責任と規範</b>
戦略	ビジネス戦略、財務計画等に対する、気候関連のリスクと機会の、現在のあるいは潜在的なインパクトの <b>戦略への織り込み</b> 特に <b>シナリオ分析の活用</b>
リスク管理	<b>気候変動リスクを認識、評価、管理するためのプロセス</b>
開示	投資家の正しい理解を促す、気候関連のリスクと機会に関する <b>適切な開示</b>

## I Ib. 金融機関に求められる気候変動リスク管理～シナリオ分析

- ◆ 気候変動リスクが金融機関に与える影響をシナリオ分析で検証し、戦略策定や影響度分析に活用する
- ◆ 気候変動シナリオはNGFS中心に議論が展開 → 共通シナリオ分析実施の流れ

	シナリオ名	シナリオの概要
①	秩序だった移行シナリオ	気候関連政策が早期に秩序だって導入され、2°C以下シナリオが達成できる。物理的リスク・移行リスクとも小さい
②	無秩序な移行シナリオ	2030年まで気候関連政策が導入されず、その後急激な政策が導入される。移行リスクが大きく、物理的リスクも相応に大きい
③	熱暑の世界	現状以上の政策は導入されず、2080年には、気温上昇が3°Cを超える。物理的シナリオが甚大



## IIc. 金融機関に求められる対応と気候変動リスク管理

- ◆ 気候変動リスク管理に加えて、金融機関には、低炭素社会に向けた資金・資本移動の仲介促進が期待される
- ◆ 企業を低炭素社会に向かわせる能動的な対話とモニタリングも必要

### 気候変動リスク対応の切り口

- 1 金融機関の事業活動そのものからの温室効果ガスの排出の抑制
- 2 保有する**資産負債ポートフォリオ**がさらされる**気候変動リスクの管理**
- 3 投融資活動を通じて、**取引先が気候変動リスク管理を進めるように促す効果(エンゲージメント)**
- 4 金融システミックリスクの可能性の排除



### 金融機関への期待

- ◆ **低炭素社会に向けた資金・資本移動の仲介促進**
  - ◆ **低炭素社会に向う企業の動きを後押しする能動的な対話の実施**
- ⇒業態毎にバリエーション
- \* 発行体
  - \* 貸出業
  - \* 保険業
  - \* アセットオーナー
  - \* 資産運用業

### III. 金融機関の気候変動リスク管理 ～ 課題

◆ 金融機関の気候変動リスク管理整備は発展途上との認識の下、複数の課題に対して早急かつ並行した対応が必要とされる

項目	課題	例
ガバナンス	金融機関のガバナンス体制との統合 取締役会の関与強化	取締役会からのメッセージ （“Tone From the Top”）
責任と規範	国連の責任原則の徹底 取引先とのエンゲージメント強化 取引先のトランジション計画モニタリング	取引先との対話の深化
戦略	シナリオ分析の経営戦略への活用 炭素排出社会への貢献モニタリング	ファイナンス実施による炭素 排出削減のモニタリング
リスク管理	気候変動リスク管理のリスク管理体制 への統合 シナリオ分析のリスク管理への活用	グローバルベースでの気候変 動リスクシナリオ分析の実施
開示	TCFD開示の推進・内容深化	CO2削減への貢献の開示等